

情報公開文書

[研究名]

集中治療中の睡眠の評価

[意義・目的]

睡眠障害は免疫能低下、虚血性疾患の併発など集中治療中の患者の予後に重大な影響を及ぼす可能性があり、できるだけ是正することが望ましいとおもわれます。現在、作用機序の異なる複数の鎮静、入眠薬が臨床で使われていますが各々特性があり、睡眠、鎮静に及ぼす影響は異なることが考えられます。睡眠状態の差異を把握することで患者さん個々の病態に応じたより効果的な睡眠障害の治療戦略の樹立を目的とします。

[方法]

当院 ICU に入室し、鎮静、入眠薬を投与された全ての患者を対象に過去のカルテの記載より各鎮静、入眠薬の使用状況を調査、各々の薬剤による鎮静、睡眠の程度を比較します。

[研究機関名]

弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座

[当該研究に関わる研究者名]

櫛方哲也

[個人情報の利用目的]

学会発表、論文作成

[保有する個人情報の開示の求めに対する対応]

診療録から収集された個人情報であるため、診療録の開示基準に該当しない限り、応じることはできません。

[苦情の申し出先及び問い合わせ先]

弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座	0172-39-5113
弘前大学附属病院	0172-33-5111
弘前大学大学院医学研究科倫理委員会	0172-39-5194